

「日進市立竹の山小学校」学校見学（実施報告）

1 ねらい

小学校の教育活動や学校施設を実際に参観し、教職員の方から話を聞く活動を通して、児童の様子や教職員の方々の取り組みを肌で感じ取り、小学校教育の現状を捉えるとともに、教職への思いを深めることができるようにする。

2 日時

2023年9月13日（水） 9：30大学集合 ～ 12：30大学解散

3 見学先

日進市立竹の山小学校 日進市竹の山四丁目502番地（0561-75-5330）

4 参加者

教職プロフェッショナル講座1年 26名（幼児保育1、児童発達教育25）

引率者 2名

5 日程

9：30 大学集合（HA棟1階ロビー） 9：50 出発（徒歩）

10：10 竹の山小 到着

10：15～10：45 学生代表挨拶、校長挨拶、学校概要説明（教務主任）、
休み時間（竹小タイム）の自由見学

10：45～11：30 2グループに分かれて校内見学（案内：教務主任・校務主任）
※授業（通常学級・特別支援学級）と学校施設の見学

11：30～12：00 質疑応答（教務主任・校務主任）、
学生代表お礼、教頭挨拶

12：05 竹の山小 出発（徒歩） 12：30 大学到着・解散（HA棟1階ロビー）

6 見学会の様子等

通常学級1～6年と特別支援学級（知的、自閉・情緒、病弱、肢体）、通級指導教室の授業の様子、校舎一体型小中併設校や教室廊下一体型オープンスペース、室内プール等の特徴ある学校施設の様子、休み時間に遊んでいる児童の様子を実際に見せていただき、日頃の児童や学校の様子を肌で感じ取ることができた。

学校概要説明や質疑応答の場面では、小中連携や特別支援教育等の取り組みや、事前にお渡しした学生からの質問へのアドバイス（児童や保護者との関わり方等）についてお話しいただいた。学生からは特別支援教育（特別支援学級の教室環境、関係機関との連携等）や学校施設への質問が幾つか上がった。

学生の見学感想を読んでも、授業での児童の声の取り上げ方、特別支援教育、ICT活用、教科担任体制の工夫等、個々の関心に応じて教師の視点から小学校教育の現状を捉えることができたことがうかがえた。

7 備考

竹の山小学校としては、学生ボランティアとして多くの学生に来てほしいと考えているので、本学学生にも是非応募してほしいという話をいただいた。



▲授業の様子の見学

2023 年度教職プロフェッショナル講座 2 年生「学校一日体験」実施報告書

1 開催目的

- ・ 小学校の生活に直接参加することで、教師（指導者）としての意識を高めるとともに、教職志望についての自覚を深める。
- ・ 授業参観や活動への参加（給食指導や清掃指導）を通して児童とふれあい、児童や学校の様子や実態、教育課程の実際等についての理解を深める。

2 実施日時、場所

2024 年（令和 6 年）1 月 23 日（火） 大府市立大府小学校
愛知県大府市桃山町 5 丁目 44 番地（電話 0562-46-5151）

3 参加者

児童発達教育専攻 19 名、幼児保育専攻 1 名、引率教員 2 名（2 年担当上記 2 名）計 22 名

4 日程及び内容

集合・出発 7:40 J R 大府駅改札外 徒歩にて学校に移動（学校到着 8:00）

学校体験 8:10～16:50

- ・ 学生代表挨拶 ・ 通常学級体験 ・ 特別支援学級体験 ・ 給食 ・ 清掃
- ・ 校長講話 15:40～16:30 解散 16:50

5 体験の様子や学生の感想など

- ・ 小学校体験が初めての学生にとって、将来をめざす教職員の姿を直接学ぶことができ、意識を一層高めることができた。また、来年度の教育実習前に体験できてよかったという声が多かった。こうしたことから、2 年生で学校体験をすることは大変意義があると感じた。
- ・ 学校の配慮で通常学級と特別支援学級の両学級を体験できたことで、将来の自分の道を考えるよいきっかけになった。また、教師の仕事ぶりとしての柔軟な対応や適切な指示など間近でつかめ、今後の大学での学びへとつなげようと感想に書いた学生が多かった。
- ・ 学生の感想（抜粋）は以下のようなものである。

○実際に教室に入って 1 日を過ごして、教師になりたいという気持ちがとても大きくなった。子どもたちのことを第一に考えられる、子どもたちのために力を尽くせる、そんな子どもたちに愛される教師を目指して、大学でも勉学に励み、今後子どもと関わるボランティア等にも参加していきたい。

○一日だけの実習ではあったのですが、日々の学校で学ぶことができないような大きな経験になりました。

○算数の授業で困っている児童に教え、嬉しそうな顔で「ありがとう」と言われとても嬉しかった。給食や清掃の時間も「先生一緒にしよう！」と誘ってくれ、本当に楽しく楽しいことばかりだった。子どもはほんとうに素直だと感じた。

○ボランティア先の小さな小学校しか知らなかったが、規模など全く違って、大府っ子タイムの校庭に児童があふれかえっている光景は衝撃的だった。同じ小学校でも、環境が違うとここまでの変化が起こるのかと思った。今回の体験を通して、多くの場所で、いろいろな特色をもった児童・教師・学校を見るということもとても大切なのだと感じた。

○1 日で分かることは少ないと思いますが、今回の体験は自分を見つめ直すきっかけになりました。自分がどんな教師になりたいのか、教師になって何をしたいのかよく考えたいです。その上で自分の芯をもって教育に携われる人になりたいです。

6 その他

- ・ 感染症の心配があったが、学校側が学生を受け入れることを前向きにとらえてもらえ実施することができた。校長先生から、未来の教師になる学生のためにと映像など準備し、講話をしていただいた。質問コーナーもあり、学生にとって実習でのまとめにもなり大変ありがたかった。
- ・ 幼児保育の実習や海外研修前ということで参加できなかった学生がいた。できるだけ参加できるような時期については検討していきたい。

以上



2023 年度 教職プロフェッショナル講座(小学校教諭・特別支援教諭)3・4 年「学校見学会」実施報告書
2023 年 8 月 31 日(木) 教職課程

1 開催目的

- ・学校施設等の見学を通して、教職に就く意欲を高める。
- ・オープンスクールという特別な教育課程の学校を見学し、教育課程の特質とそれを実現するための施設や環境の在り方について理解する。
- ・中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の中核となっている「指導の個別化」「学習の個性化」「個別最適な学び」について見学校(緒川小学校)は 40 年ほど前から先進的かつ継続的に取り組んでおり、その教育理念や教育課程の実際に触れ学びを深める。

2 開催日時

2023 年 8 月 24 日(木) 9:30~11:30(2 時間)

3 見学先

東浦町立緒川小学校(校長) 学級数 20、児童数 525 名の中規模校
〒470-2102 知多郡東浦町大字緒川字八幡 7 番地 TEL:(0562)83-2034 FAX:(0562)83-8510

4 参加者

3 年生 5 名(幼児保育専攻 4 名、児童発達教育専攻 1 名)
4 年生 10 名(幼児保育専攻 1 名、児童発達教育コース 9 名)
引率教員 3 名) 合計 18 名

5 日程及び内容

集合・出発(JR 武豊線「緒川」駅) 徒歩にて移動	9:00
あいさつ・日程説明・緒川小学校の概要説明(鈴木教務主任)	9:30~ 9:45
学校施設見学・児童の学習の様子を参観	9:45~10:20
感想交流・新任教諭との質疑応答、鬼頭校長の講話等	10:30~11:30
閉会行事・解散	11:40

6 見学会の様子と参加学生の感想

- ・緒川小学校は約半世紀の間、オープンスクールとして存続している。「施設の特異さや特別さ=教育課程の違い」という教務主任からの説明を聞き、それを理解しようとする熱心な姿がとてもよかった。
- ・緒川小学校の新任教員 2 名、学校ボランティアに入っている他大学の学生 4 名(1 名は本学の学生だった)と質疑応答や交流できたことは、非常によい刺激となった。
- ・校長からは次のような視点から自分が教員に向いているかを考え、その上で「覚悟をもって教員になってほしい」という話をいただいた。

- ・自分が教員にふさわしいか。
- ・(教員という仕事は)一生かけてやりたいことか。
- ・自分にできることは何かを考え行動できるか。

- ・学生からは「環境構成が教育にとってはとても大事なことがわかった」「校長先生の話にあったように、大学生として多様な学びを大切にしたい」「身が引き締まる思いがした」「新任の先生の話聞き、教員としてのやり甲斐を感じることができた」などの感想が聞かれた。
- ・「東浦町スクールパートナー(学校ボランティア)」についての説明もあり、ボランティアとしての受け入れも可能であるという案内があった。

7 その他

- ・校長の役職定年に伴い来年度は校長が交代となるが、来年度以降も本学「早期学校体験」については受け入れ可能である旨の話をしていただいた。



<緒川小の施設見学の様子>



<新任の先生との質疑応答>